



日本医療機能評価機構認定病院

美山だより



第27号

2014. 6

社団医療法人 啓愛会

美山病院

〒023-0132 奥州市水沢区羽田町字水無沢495-2

TEL 0197-24-2141

FAX 0197-24-2144

URL <http://www.keiaikai-miyama.jp/>

理念

よき医療とやすらぎの環境

美山病院の基本方針

- 1・地域医療に貢献し、すべてのサービスに誇りと責任を持ち愛される病院になります。
- 2・医療人としてよりよい医療や看護が提供できるよう自己研鑽します。
- 3・安心した療養生活ができるように心の通った介護をいたします。
- 4・健全経営を確立し、常に個人と組織が向上する環境を保ちます。
- 5・病院組織をあげて医療の安全確保や感染対策に最善を尽くします。

平成26年度の病院方針 院長 及川司

当院には上に掲げてあるように「良き医療と安らぎの環境」の理念と五つの基本方針があります。

今年度はこれらをさらに実現化する具体的な事業を行いたいと思います。

さて、「良き医療」とはどのような医療でしょうか。



院長 及川司

最も進んだ先端医療を提供することだけが「良き医療」なのでしょうか。

私たちはそれだけではなく、患者やご家族とよく相談し、患者一人ひとりに最もふさわしい、何よりも患者や家族が満足する医療を提供することが「良き医療」と考えています。そのためには、医療人は何よりも人としての素養を磨き、より良い医療・介護ができるよう研鑽を積まなくてはいけません。患者の立場になってものを考え、時には一病院の枠を超えて、「地域で治す」という大きな視点に立って患者の治療を考えることも必要です。また、本当に困っている少数の患者に目を向けることも大切です。当院では胆江地区では唯一の緩和ケア病棟とリンパ浮腫外来を設立しました。「安らぎの環境」を考えてみます。当院は自然に恵まれた立地条件にありますが、少々老朽化が目立ってきたようです。できる限りきめ細やかなメンテナンスを行い、患者が少しでも安楽に過ごせるような環境作りに励みたいと思います。しかし、患者が本当に安らぎを感じるのは人のふれあいであると考えます。常に患者と接している私たちの接遇マナーが重要になってきます。以上より、今年度の病院方針は職員の「人づくり」に重点を置き、資質の向上、教育・接遇研修の充実、学会・研究会への積極参加などを行います。このことによって患者により良い医療と安らぎの環境を提供できると考えております。

一目次

- 1P … 平成26年度の病院方針
- 2P～3P 看護科の今年度方針と目標
- 4P … 薬剤科、栄養科、美山病院デイ・ケアセンター今年度方針と目標
- 5P … 新人紹介
- 6P～7P リハビリテーション科の紹介
- 8P … リンパ浮腫外来 Q&A



美山病院看護科 平成26年度目標
総看護師長 平野美恵

1. 心のこもった思いやりのある接遇を提供する
★緩和の心とホスピタリティの融合
2. 継続教育の整備と人材育成の充実を図る
★自己啓発支援

>美山病院院長の方針でもある「すべての病棟に緩和の心を」=「相手の立場に立って考える」「感謝の心をもって関わる」「コミュニケーションをとり相手の話に耳を傾ける」「相手の痛みを察知する感性を磨く」です。26年度はホスピタリティ精神を加え、更に患者様に寄り添えるようにしたいと思います。

ホスピタリティとは、思いやり・心からのおもてなしという意味です。医療も患者様第一であり、他のサービス業と変わりはありません。

しかし、マナーは出来ていても心がこもっていないければ患者様には伝わらないでしょう。

マナーに心が加わることにより、ホスピタリティになるのです。

>知見を広め教育を継続させることは、良き人材（人財）の育成にもつながることだと思います。

良き人材（財）はより良い看護の提供につながります。このつながりが、患者様に安心感を与え、信頼を得ることができるのでないでしょうか。

美山病院に来てよかったです。という声が聞こえるように頑張りたいと思います。



1 病棟師長
佐藤智恵美

平成26年度 1病棟方針と目標
病棟師長 佐藤智恵美

今年4月から1病棟看護師長になりました佐藤智恵美です。
患者様が入院から退院まで安心して入院生活を過ごし、満足を感じて頂ける為に多職種の専門性を活かしたチーム医療を目指しています。

看護の喜びは患者様との出会いから、患者様に寄り添うこと

から、そして共に働く仲間との連携から生まれてくるものだと感じています。 患者様・ご家族様の一人一人を大切にし、仲間も大切にしていく病棟を目指していきたいと思っています



2 西病棟師長
高橋りつ子

平成26年度 2西病棟方針と目標
病棟師長 高橋りつ子

第2回目の病院機能評価受審の年度を迎え、又、4月より一般病棟から医療療養病棟への勤務異動となり、何かと落ち着かない年となりました。

今年度はとにかく挨拶を徹底し、患者様・ご家族様・他来院者に対し、「心からおもてなし」をもって接するという事を念頭に業務に専念して行きたいと思います。常に笑顔で接し、感謝の言葉を忘れず、「何事にもスピーディーな対応を心掛ける」をモットーに平成26年度の2西病棟をリードしていく所存です。



2 東病棟師長
菊池みゆき

平成26年度 2東病棟方針と目標

2東病棟師長 菊池みゆき

入院患者様は、重度肢体不自由・重度障害・重度意識障害の方が対象の病棟です。

病棟の患者様は意思表示の出来ない方、コミュニケーションは出来るが身体的な援助を必要とする患者様がほとんどです。
ですから、患者様ご家族の意に沿える看護を必然とします。

今年度の病棟目標に

- 1、患者様の視点に立ち、優しい対応をしていきます。
- 2、職業人として、自己研鑽に取り組み安全・安心な看護を提供します。
をかかげて、日々の業務でみのりあるものにしていきたいと思います。



3 病棟師長
菊池弘子

平成26年度3病棟方針と目標

3病棟師長 菊池弘子

3病棟は平成24年7月より介護病棟より転換し、3年目を迎えます。急性期の治療が終わり症状が安定した患者様が継続的にリハビリや医療を行う病棟です。

患者様個々の障害を尊重して、精神面の充実、身体機能の維持改善の支援をしています。

今年度の病棟目標に

1. 患者様・ご家族の思いに寄り添い、満足が得られる看護、介護を提供します。
2. 専門職としての自覚と自己研鑽に励みます。を掲げ、達成に向けて取り組んでいきます。
事故や感染対策にも力をいれ、安全・安心な看護を提供していきます。



緩和ケア病棟師長
佐藤裕子

平成26年度緩和ケア病棟方針と目標

緩和ケア病棟師長 佐藤裕子

<病棟理念>

あなたがあなたらしく日々を過ごせますよう
あなたとご家族を支えます

緩和ケア病棟の理念です。3年間を振り返り、新たに4年目に向け基本に立ち戻り、患者さま、ご家族に看護を提供していきたいと思います。

また引き続き、緩和ケアを地域の皆さんに知っていただくため公開講座、座談会等の他、病棟の見学、慰問、ボランティア参加など交流の場を作りながら活動を計画しています。
一人でも多くの人に緩和ケアを知ってもらうことを目標に取り組んでいきます。



薬剤科長
菊地祐子

平成 26 年度薬剤科方針と目標

薬剤科長 菊地祐子

<薬剤科理念>

「チーム医療への参画と質の高い医薬品安全管理」

美山病院薬剤科は半歩でもチーム医療に踏み出そうとスタッフ全員がそれぞれの役割を認識し病棟に足を運べる工夫をしています。

薬剤師3名で全てのカンファレンス参加と入退院時に係る事を目標に4月から取組を始めています。薬剤師不足の解消の為、本年度は3回の病院見学も行いスタッフの充実を図り薬剤師の病棟配置を目指したいと思います。



管理栄養士
顧問 佐々木誠子

平成 26 年度栄養科方針と目標

栄養科 顧問 管理栄養士 佐々木誠子

今年の栄養科の目標は「温かい食事と思いやりの心」です。

「温かい」とはものが冷たくなく程よいことと、心・態度などがやさしく気遣いがあることを意味する言葉です。

お食事は一人一人の患者様の病態により、献立内容や分量食事形態が違います。安全に、そして美味しく食べて頂けるように、味付けや盛り付けに心を配り、食事を提供できるよう職員一丸となり取り組んで参ります。

「思いやりの心」は患者様やご家族への思い、職員同士、そして自分の家族に対して、自分中心ではなく、相手の立場に立ったものの見方ができればいいなと思っています。

患者様については、病棟へ行き、食事の状況を把握し、多職種の職員とのコミュニケーションを図り、患者様を知ること。日頃から心がけて業務していきたいものです。

楽しく・安心して働けるように環境作りをすることが昨年に引き続き私の使命と思って取り組んでいきます。



デイ・ケアセンター
所長代行 中村絵理

平成 26 年度美山病院デイ・ケアセンター方針と目標

美山病院デイ・ケアセンター所長代行 中村絵理

啓愛会に就職して15年間、老健施設で勤務してきましたが、本来の役割である「在宅復帰」ができる方はわずかでした。

今回美山病院デイ・ケアセンターに異動となり「1日でも長く在宅で生活したい」と言う利用者様、ご家族様の思いを知り、

デイケアの役割の重さを実感し新たな、遣り甲斐を感じています。

初めての経験に勉強する事が多いですが、利用者様や家族様の思いに寄り添いお手伝いをしていきたいと思っています。

新 人 紹 介

今年の26年1月以降に就職された皆さんです。

 <p>看護師 梅津礼子 人生の先輩である利用者さん等からご指導を受けながら楽しく働いていきます。</p>	 <p>看護師 金野裕香 笑顔を忘れず患者さんの安全に努めながら頑張ります</p>	 <p>看護師 菅原麻衣 笑顔で頑張ります！！</p>	 <p>主 事 三野宮充 毎日充実した仕事をさせて頂いております。</p>
 <p>看護師 佐藤安里紗 患者様が安心して生活できるよう努めてまいります。宜しくお願いします。</p>	 <p>看護師 千田奈央 皆さんに教えて頂きながら看護できるように笑顔で頑張ります。</p>	 <p>看護師 千葉咲奈 笑顔と時間管理を心掛けて頑張ります</p>	 <p>看護師 渡辺裕美子 毎日笑顔でがんばります。</p>
 <p>看護補助者 石田真理 一生懸命頑張ります。</p>	 <p>看護補助者 飯野春奈 早く仕事に慣れて笑顔で頑張ります。</p>	 <p>介護福祉士 千葉美恵 毎日楽しく仕事させていただいてます。</p>	 <p>看護補助者 高橋紀恵子 心をこめて対応し頑張ります。</p>

医療・介護の仕事に携わる方が少ない時代、特に看護師不足は非常事態になって来ております。そんな中で今年の4月1日に看護師6人が就職して頂きました。嬉しい悲鳴となりました。一人ひとりのコメントにもありますが、笑顔でガッバールと書いてあり、固い決意の表れだと思います。

緒先輩が築き上げた職場の雰囲気を継承し、患者さんに優しい職員として、責任の重さを感じながら頑張って頂けたらと思います。

事務部長 千葉新一

進歩のリハビリ

attack on rehabilitation

所属長からの御挨拶



4月よりリハビリテーション科所属長を拝命いたしました作業療法士の鈴木海と申します。患者様に「リハビリしてるのは入院中だってこと忘れてた～」なんて言って頂けるような穏やかな時間、楽しい時間を提供していきたいと思っております。スタッフ一同笑顔でがんばっていますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

リハビリテーション科

平成26年5月1日現在、当院のリハビリテーション科には、理学療法士8名、作業療法士4名、言語聴覚士1名、マッサージ師1名の合計14名のスタッフが在籍しております。5年前はスタッフが6名でしたが、現在は2倍以上に増え、より手厚いリハビリテーションサービスの提供が可能となっております。只今、急成長中のため経験の浅いスタッフも多いですが、全スタッフが日々自己研鑽に努めています。



リハビリって？

『リハビリテーション』という言葉は最近よく耳にするようになってきましたが、その意味をご存じでしょうか？「リハビリをしましょう！」などと使われることが多いですよね。

リハビリ=専門職による機能回復訓練と捉えられることも多いですが、「リハビリテーション」という言葉には広い意味があります。「リハビリテーション」(Rehabilitation)は、re(再び、戻す)とhabilis(適した、ふさわしい)から成り立っています。つまり、単なる機能回復ではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」が重要で、そのために行われるすべての活動がリハビリテーションなのです。それには、理学療法士(PT)や作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)のようなリハビリテーション専門職だけでなく、さまざまな職種の方々が関与し、さらに家族の方々の支えもとても大切になります。



美山病院リハビリテーション科の特徴

当院の「緩和ケアの心をすべての病棟へ」という考え方のもとに、すべての患者・利用者様や御家族の思いを可能な限り受け止めながら、患者様の「笑顔」を目標としたリハビリテーションの提供を心がけております。また、基本的な理学療法、作業療法、言語療法などの他に、患者様ひとりひとりの希望や日常生活に沿ったリハビリテーションを積極的に行い、生活の質(QOL)の向上に努めております。



リハビリに心臓を掛けよ、



リンパ浮腫外来

Q & A

Q 1, リンパ外来は混んでいますか？希望の日にちに伺えますか？って言うか、リンパ外来ってやってるの？

A 1…昨年11月5日に開設し、今年1月から本格稼動し始めました。4月現在、登録数15名、4月の延べ来院数は24名となっております。1ヶ月に4・5名が新規としていらっしゃっております。現在は1日2名様までの施術とさせていただいておりますので、ご希望に添えない事も増えてまいりました。しかしながら、施術時間がかかる両脚の浮腫の方にはなるべくセラピスト2名体制で対応し負担が少なくなるよう、配慮させていただいております。

胆沢病院の乳腺外科からの紹介でいらっしゃる方が中心となっていましたので、全体の73%が腕の浮腫の方、86%が女性の方が通われております。また、週1回で通われる方から月1回の方、著しい浮腫はみられない方でセルフケアの指導と1度のドレナージにて様子みておられる方もいらっしゃいます。

Q 2, 初診からドレナージなどをしてもらえますか？

A 2…申し訳ございません。初診は安全にドレナージや圧迫療法を施術していく為の検査が中心となります。医師やセラピストによる問診・視診・触診に加え、超音波検査にて皮下組織の状態を確認をしたり、心電図・血液検査・尿検査・レントゲン検査にて心疾患等の基礎疾患や血栓が無いことを確認した上での施術開始となります。検査結果によっては、リンパ浮腫治療よりも優先すべき疾患等が見つかる場合があります。その際は、かかりつけ医や近隣の専門医へ紹介し、全身状態が整ってからリンパ浮腫治療を開始できるようにしております。

Q 3, 圧迫療法は苦しそう。ドレナージだけでもいいですね？

A 3…リンパ浮腫治療において、**圧迫療法はとても大切**です。ドレナージにより、うっ滯したリンパ液を適切な方向へ誘導し、硬くなった皮膚や皮下組織を柔らかくしリンパ液の流れを良くします。圧迫療法は、柔らかくなった皮膚の状態を保ち、さらに運動療法を組み合わせる事で、筋ポンプ作用により排液を促していきます。包帯による圧迫療法に抵抗がある方は、スリーブやソックス、ストッキングタイプの弾性着衣もあります。お試しで包帯を巻いたり、弾性着衣を着けてみることも出来ます。ドレナージと圧迫療法を組み合わせて、リンパ浮腫ケアができると、サイズダウンを実感できると思います。

質問・疑問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください！